

JaLCメタデータのオープン化

～2022年1月度月刊JPCOAR(第4回)～

2022年1月25日

ジャパンリンクセンター事務局

目次

1. 永続的識別子”DOI”とは
2. ジャパンリンクセンター（JaLC）とは
3. メタデータのオープン化について

1. 永続的識別子”DOI”とは

1-1. 国際標準の識別子: DOIとは

DOI prefix DOI suffix
↓ ↓
DOIの例: 10.1241 / johokanri.57.936

アクセスする際のURL ⇒ <https://doi.org/10.1241/johokanri.57.936>

- Digital Object Identifier objectに登録される永続的な識別子。
- ISOにより標準化された規格(ISO26324:2012)。
- 各機関固有のDOI prefixと、個々のコンテンツを特定するDOI suffixとを「/」でつないで並べた構成。
- DOIの前に、「https://doi.org/」を付けることにより、URLとして機能。

1-1. 国際標準の識別子: DOIとは

DOI

「メタデータ」
タイトル、著者、抄録、引用情報、本文所在地情報等のコンテンツ情報

口頭発表

[A25] デジタルコンテンツへのDOI付与のすすめ: 日本をつなぐ~アクセスをいつまでも~

桜井 有里, 住本 研一

+ 著者情報

キーワード: 第3回

ジャーナル J-STAGE DATA 付録

2019 年 3 巻 2 号 127-130

DOI https://doi.org/10.24506/jsda.3.2_127

+ 詳細

記事の概要

抄録

> 抄録

> Data Availability Statement (1)

> 引用文献 (4)

> 著者関連情報

> 電子付録 (1)

デジタルオブジェクト識別子 (DOI) は国際規格の識別子である。学术论文の分野ではDOIの利用が義務化されている雑誌もあり広く普及しているが、最近では研究データや画像、古典籍や博物館の展示資料等にもその利用範囲が拡大している。画像や古典籍、絵画や写真等を電子化したコンテンツを公開する際に、将来にわたっていかにアクセスを保証するか、コンテンツを流通させるかは重要な課題である。さらに絵画や版画などは、タイトルや作者が同じでも版が異なるものも多く、引田や解明を行う際に一意性を確保、把握する点も重要な課題とされている。

PDFをダウンロード (1110K)

メタデータをダウンロード

RIS形式
(EndNote、Reference Manager、ProCite、RefWorksとの互換性あり)

BIB TEX形式
(BibDesk、LaTeXとの互換性あり)

テキスト

メタデータのダウンロード

関連情報

引用文献 (4)

[1] ジャパンリンクセンター.“ジャパンリンクセンターとは何か〜その成り立ちと基本方針〜”. https://japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_policy.pdf (参照日 2019/1/15). DOI: 10.11502/jalc_policy

[2] ジャパンリンクセンター.“ジャパンリンクセンターのご紹介”. ジャパンリンクセンター. https://japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_introduction_2.pdf (参照日 2019/1/15).

[3] 山本和明.“論文に引用する古典籍にDOIを明示しましょう―検証可能な学問に向けて―”. 国文学研究資料館. https://kokubunken.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=3171&item_no=1&page_id=13&block_id=21 (参照日 2019/1/21).

[4] 京都大学総合博物館.“携帯用六分儀”. 一般社団法人学術資源リポジトリ協議会. https://sci-instrument.repon.org/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=1111&item_no=1&page_id=13&block_id=15 (参照日 2019/1/21).

お気に入り & アラート

☆ お気に入りに追加

☆ 追加情報アラート

☆ 被引用アラート

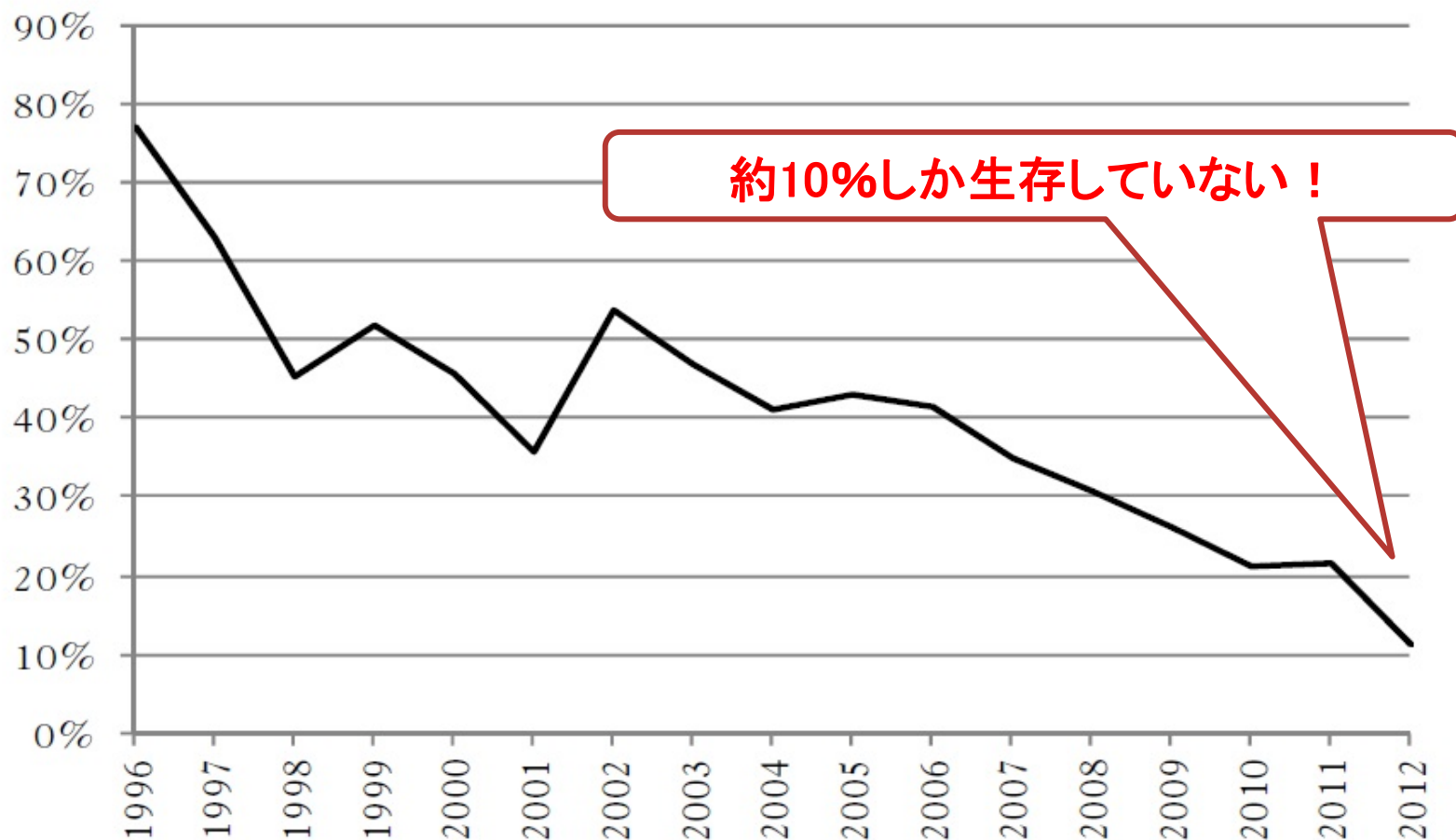
☆ 認証解除アラート

+ J-GLOBAL 著者関連情報

J-GLOBAL 関連記事 >

1-2. DOIのしくみ・役割

■ 引用文献リンク生存率の変化



Zittrain, Jonathan. et al. Perma: Scoping and Addressing the Problem of Link and Reference Rot in Legal Citations. Legal Information Management. 2014, vol.14, no.2, p. 88-99, <https://doi.org/10.1017/S1472669614000255>

1-2. DOIのしくみ・役割

① DOI・URLを登録

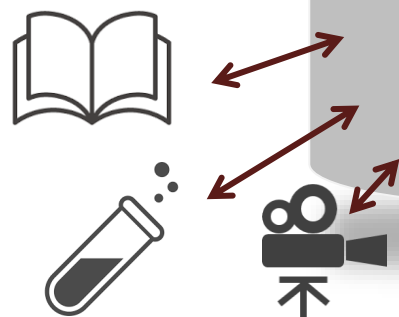
<DOI> 10.1000/123

~~<URL> https://www.jalc.com~~

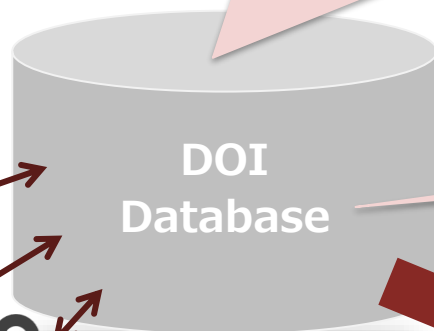
② 会員がURL情報を変更

<DOI> 10.1000/123

<URL> **https://www%jalc.com**



様々なコンテンツに
DOI登録が可能

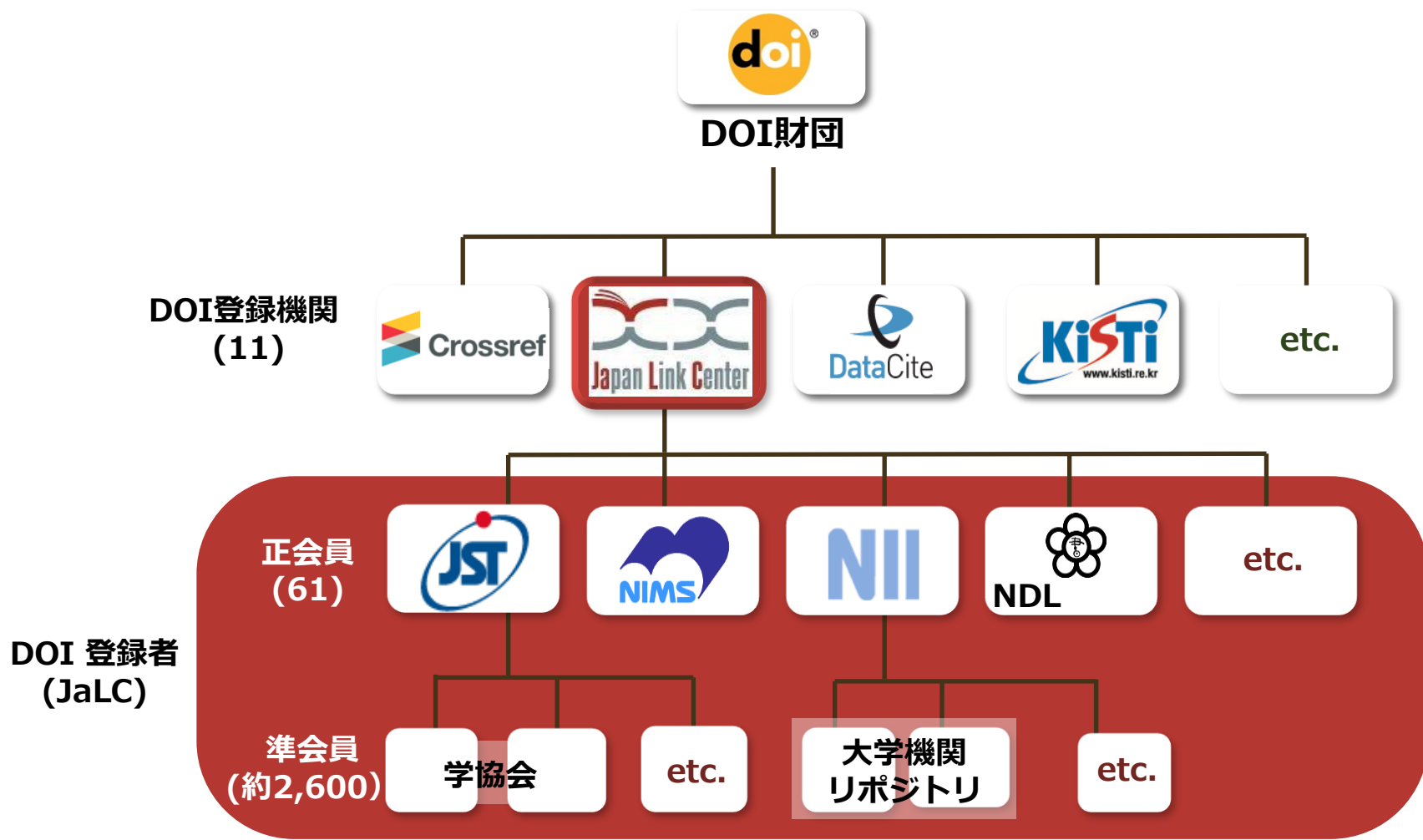


③ DOIにより新しいURLへ アクセス可能



DOI DBが正しく更新されていれば、恒常的にアクセス可能
→リンク切れを防ぐ

1-3. DOIの運営組織体制



1-3. DOIの運営組織体制

DOI Foundation(DOI財団) 1998年設立



- DOI登録機関(Registration Agencies ; RA)の管理
- ポリシーの策定

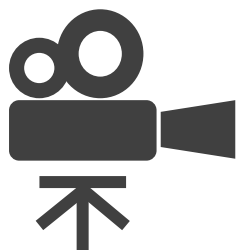
※DOI財団はDOIの登録を行っていない⇒RAを通してDOIを登録する

Registration Agencies; RA(DOI登録機関)

- 各々のポリシーに基づき、DOIを登録
- DOI Prefixの登録、DOI登録維持業務
- DOI登録者の管理
- DOIシステムの普及



1-4. DOI登録機関例：国際的なコンテンツ型RA



Film, Entertainment



Research Data



Crossref

Books, Journal Article

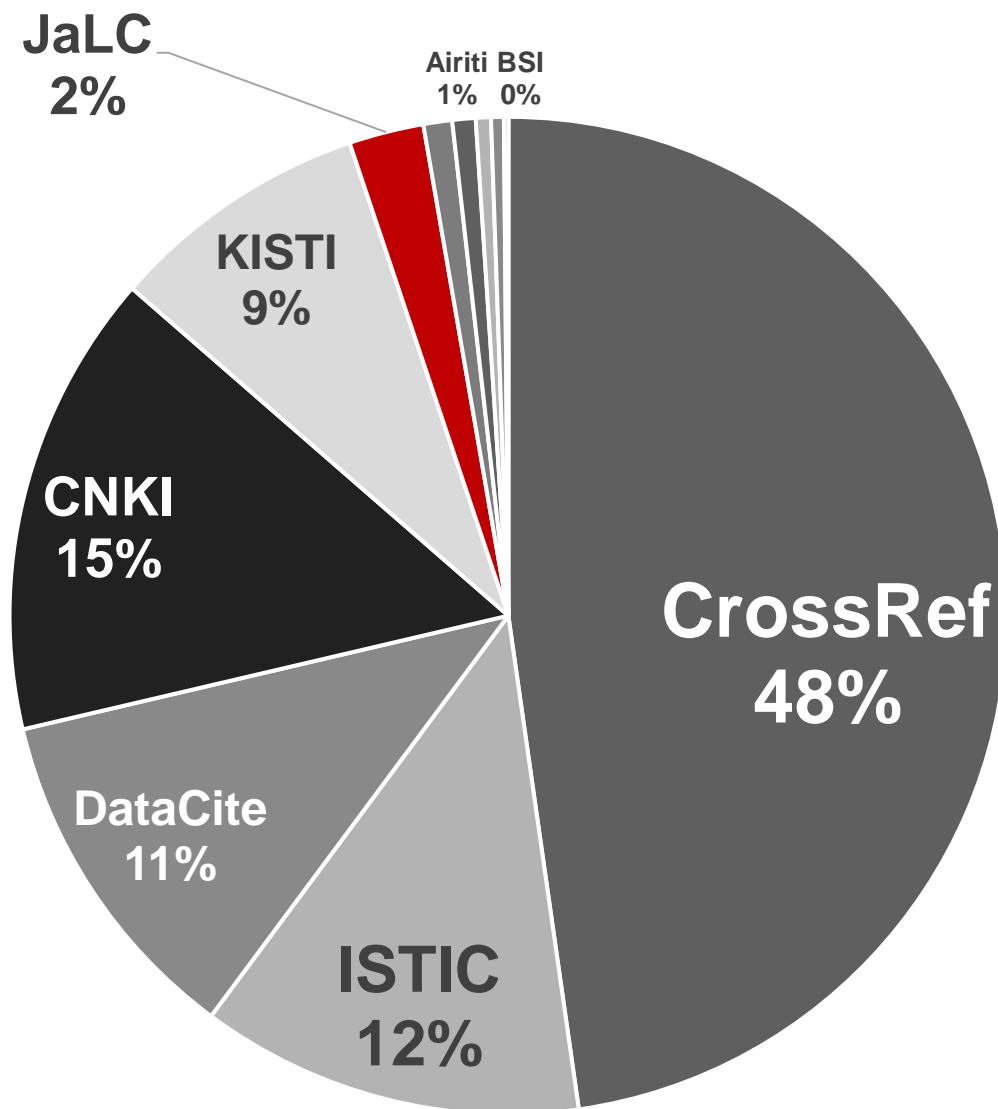


Construction Products

1-4. DOI登録機関例：地域型RA



1-5. DOI登録件数

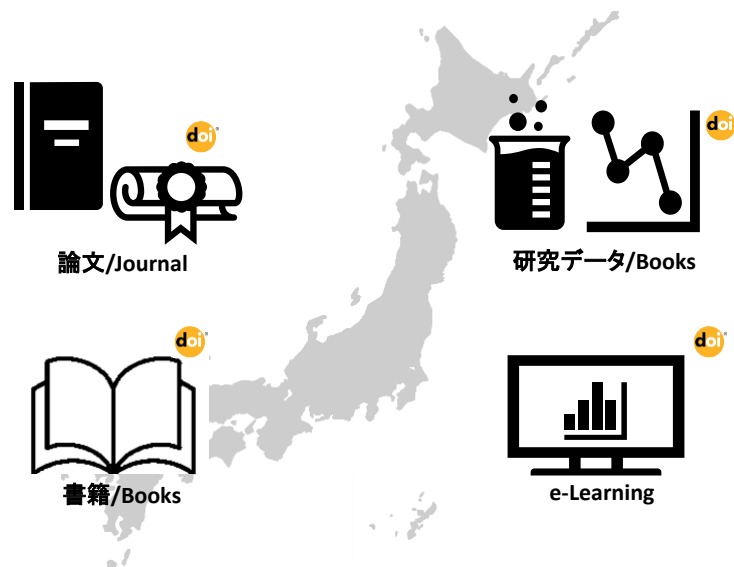


Total
278,207,072
(2022年1月4日時点)


2. ジャパンリンクセンター (JaLC) とは

2-1. ジャパンリンクセンター (JaLC) とは


- 2012年3月にDOI財団に認定された日本のRA機関
- 日本国内の電子化されたコンテンツにDOI を登録
【DOI登録対象コンテンツ種別】
ジャーナル論文、書籍、研究データ、eラーニングなど




- 国内学術機関(4機関)が共同で運営

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) ※事務局 

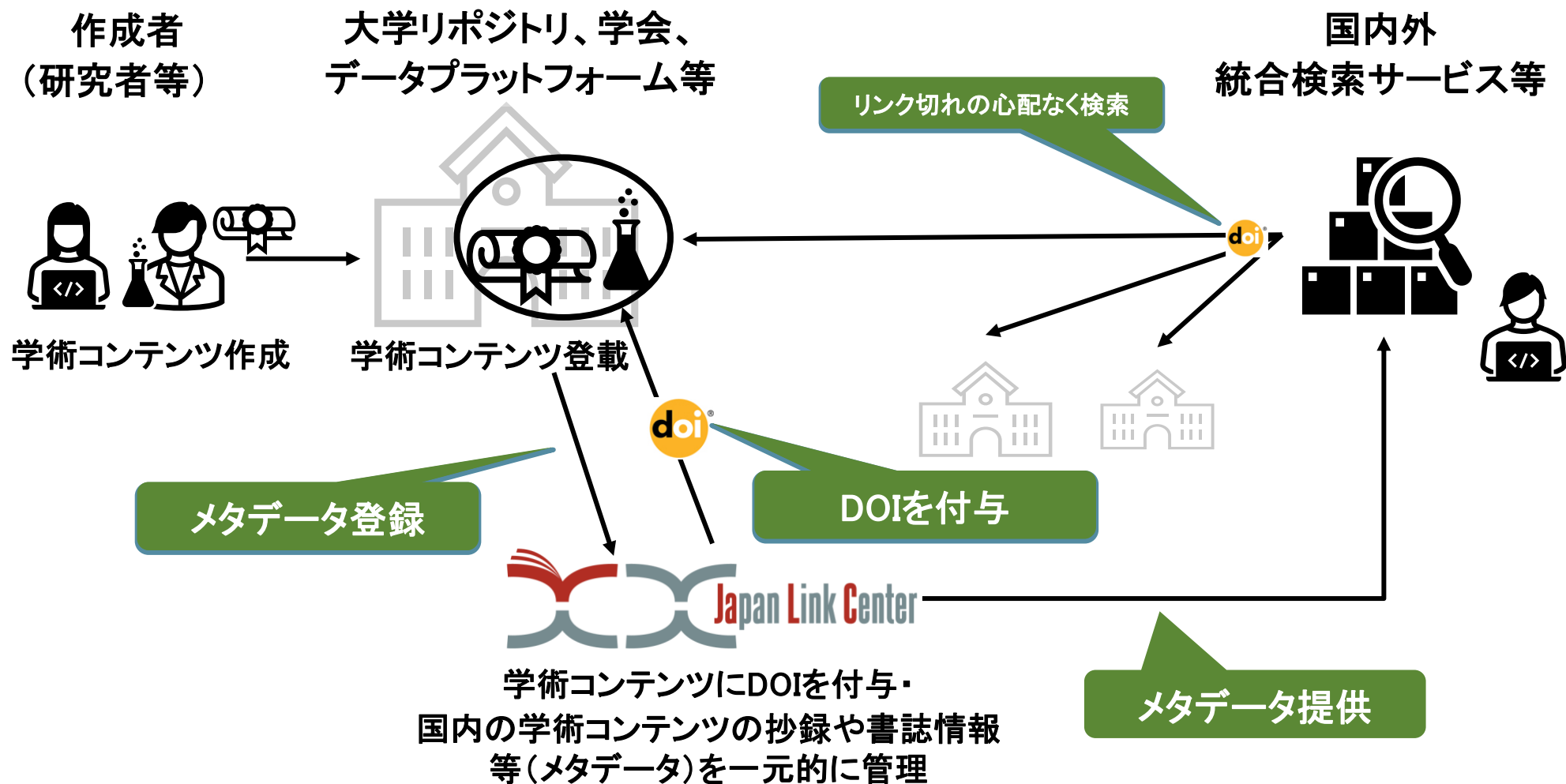
国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS) 

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所 (NII) 

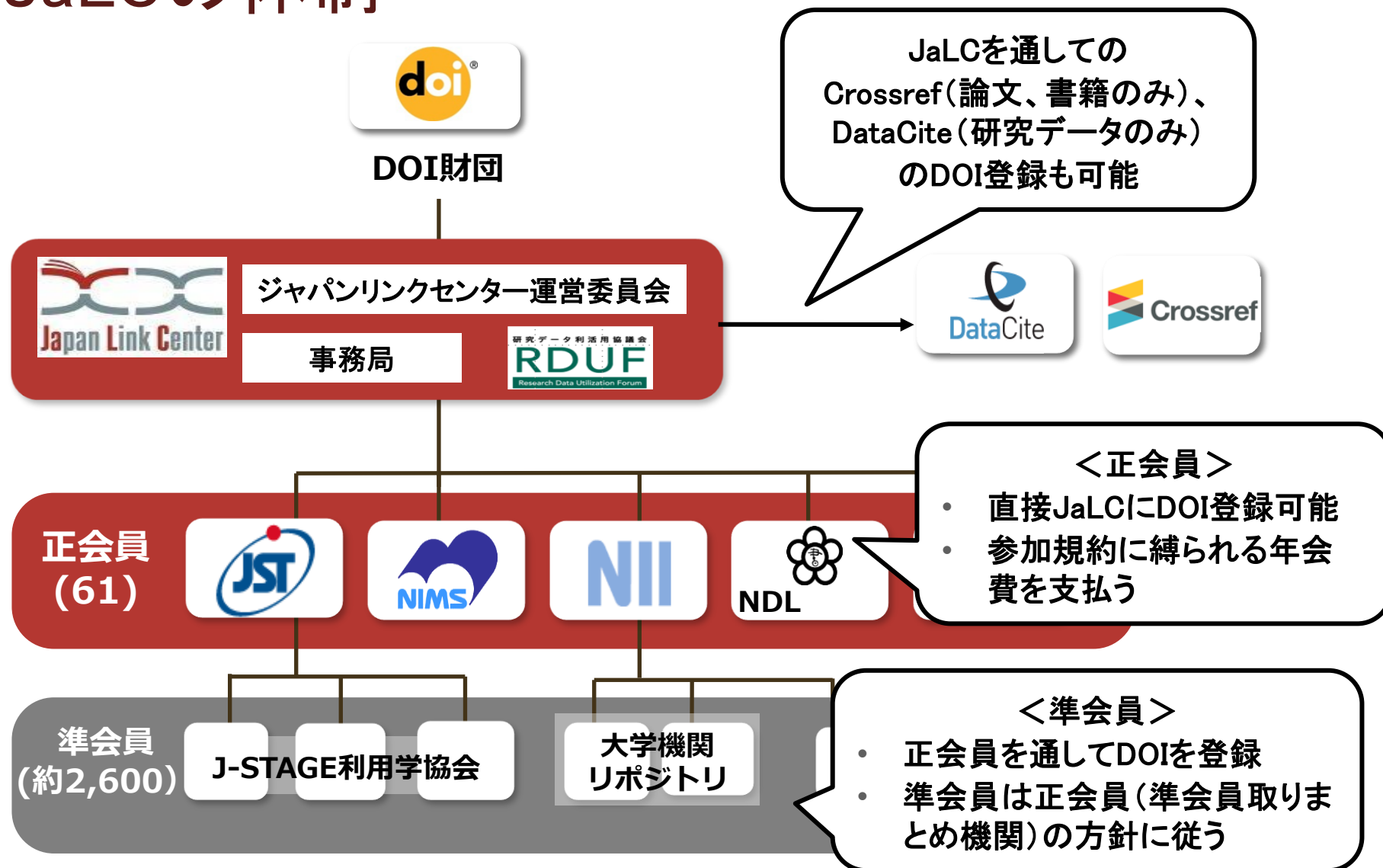
国立国会図書館 (NDL) 

- 正会員: 61機関、準会員: 約2,600機関(2021年12月末時点)

2-2. JaLCの役割



2-3. JaLCの体制



2-4. JaLCに登録するメタデータスキーマ

必須メタデータ (Basic metadata)

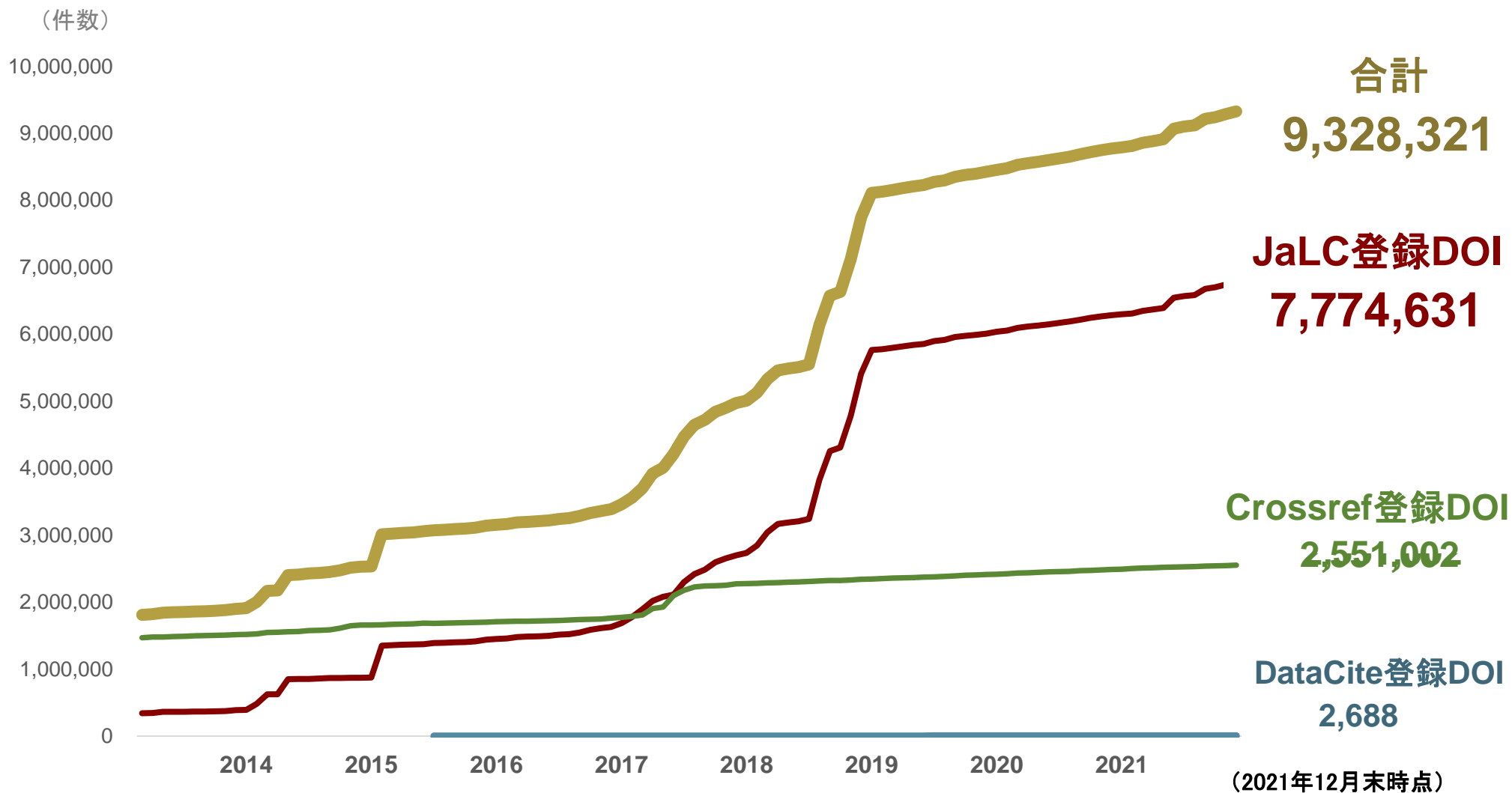
DOI, URL, タイトル, 著作者名, 著者の所属機関, 著者の研究者ID, 出版情報, 出版者, 版, 関連するコンテンツ, 助成機関



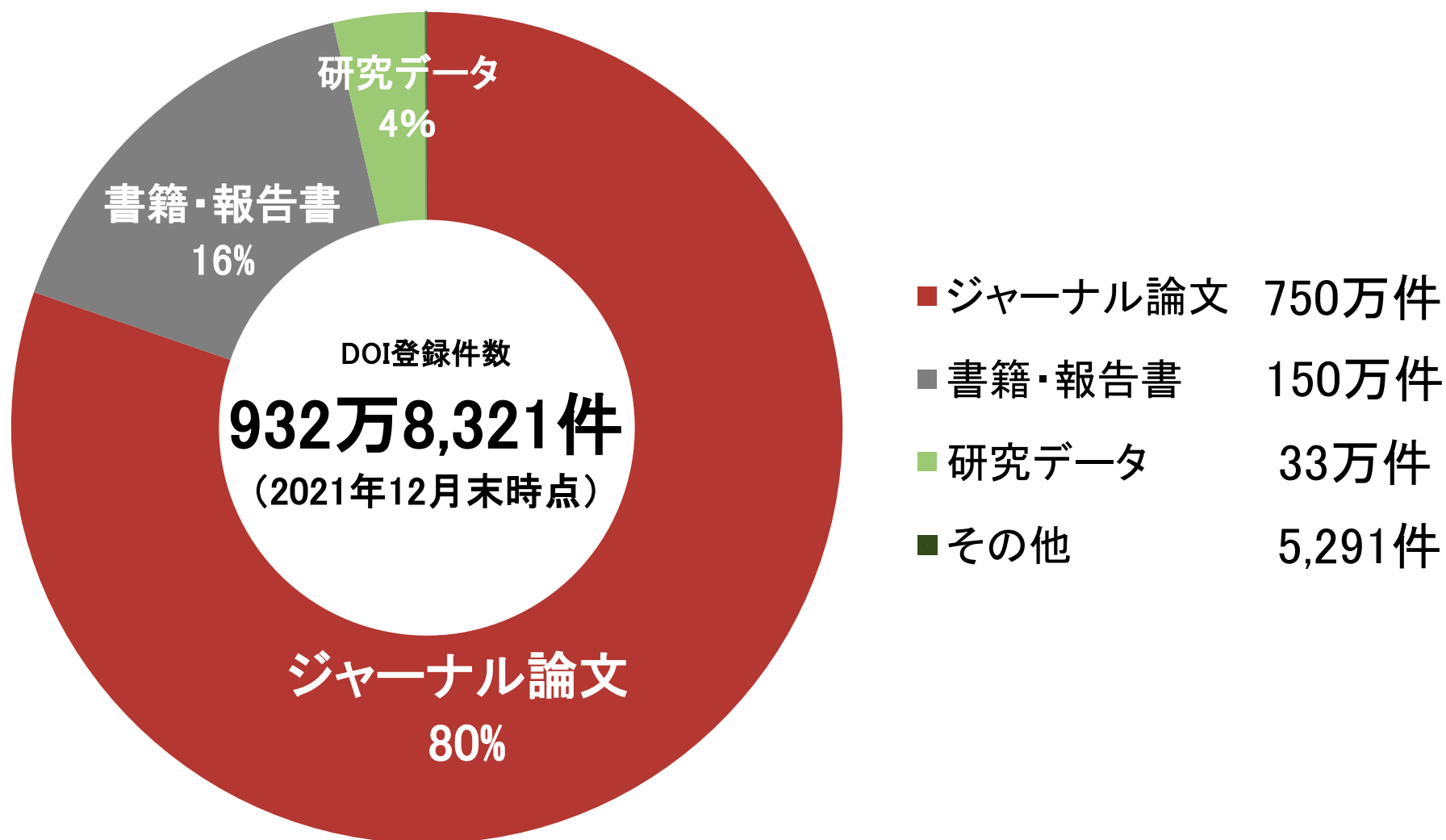
必須のスキーマが
コンテンツタイプごとに異なる

コンテンツ種別	メタデータ
ジャーナル論文	ジャーナル名, ISSN, 巻, 号, ページ, etc.
書籍	シリーズタイトル, 章, ISBN, etc.
研究データ	サイズ, 位置情報, 権利情報, シグネチャ, etc.
E-learning	リソースタイプ, 権利情報, etc.
汎用	必須メタデータのみ

2-5. JaLCでのDOI登録件数の推移(登録RA別)

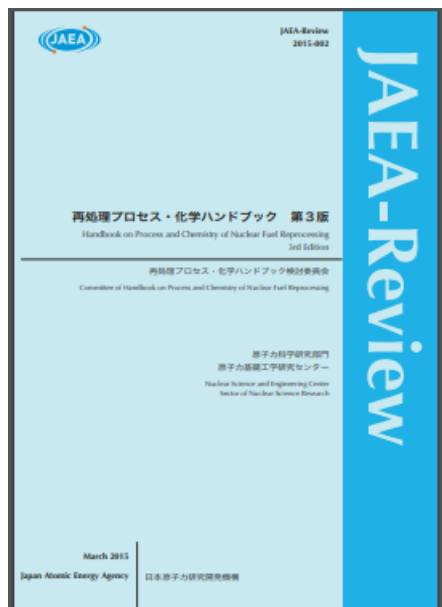


2-6. コンテンツ別登録件数 (Crossref、DataCite含む)







2-7. JaLCに登録されているコンテンツ例

■書籍・刊行物



JAEA 再処理プロセス・化学ハンドブック第3版
<https://doi.org/10.11484/jaea-review-2015-002>

■研究データ

IDR 大阪大学 マルチモーダル対話コーパス (Hazumi)	
    	
JaLC DOI	info:doi/10.32130/rdata.4.1
アイテムタイプ	IDR dataset
言語	日本語
サブジェクト	映像データ
制作者	駒谷 和範 岡田 将基
提供者	大阪大学
配布者	国立情報学研究所 情報学研究データリポジトリ
提供日	2020-08-18
データ形式	video(mp4), audio(wav), depth(png), bodydata(csv)
概要	Wizard-of-Ozによるエージェントと人との対話を収録したマルチモーダルコーパス。交換ごとに心象など各種のアノテーションが付与されている。対話は1名あたり15分程度、59名分。
利用資格	大学や研究所等の研究機関（民間を含む）の研究者。その他利用条件あり。
申請手続	利用申請書を提出し、審査を経て同意書を提出。

- NII データセット共同利用研究開発センター提供データセット
- 千葉大学学術成果リポジトリ 博物画像データセット
- 学術資源リポジトリ協議会 データリポジトリサイト収録コンテンツ 等

■J-STAGE掲載論文や機関リポジトリ掲載論文、紀要等多数

3. メタデータのオープン化

3-1. オープン化の背景・目的

- 当初、JaLCに登録されたメタデータは公開されておらず、データを取得・利用できるのも運営委員会が認めた正会員・連携機関のみ
- 下記の理由から、メタデータのオープン化について検討された(2017～)
 - ① 運営委員会の中で、「DOI登録のインセンティブとしてJaLC会員にはメタデータを全面的に公開すべきでは」という意見があった
 - ② CrossrefやDataCiteでは、REST API等によるメタデータの公開およびそれらのメタデータを活用した各種サービス※の開発・運用が進められており、日本の学術情報流通促進のためにもこれらの流れに沿うべきと考えたため
※他のメタデータと組み合わせ精度を向上させた検索サービス、被引用数のカウント、RA間でのメタデータ共有による論文・研究データ紐づけサービス等

3-1. オープン化の背景・目的

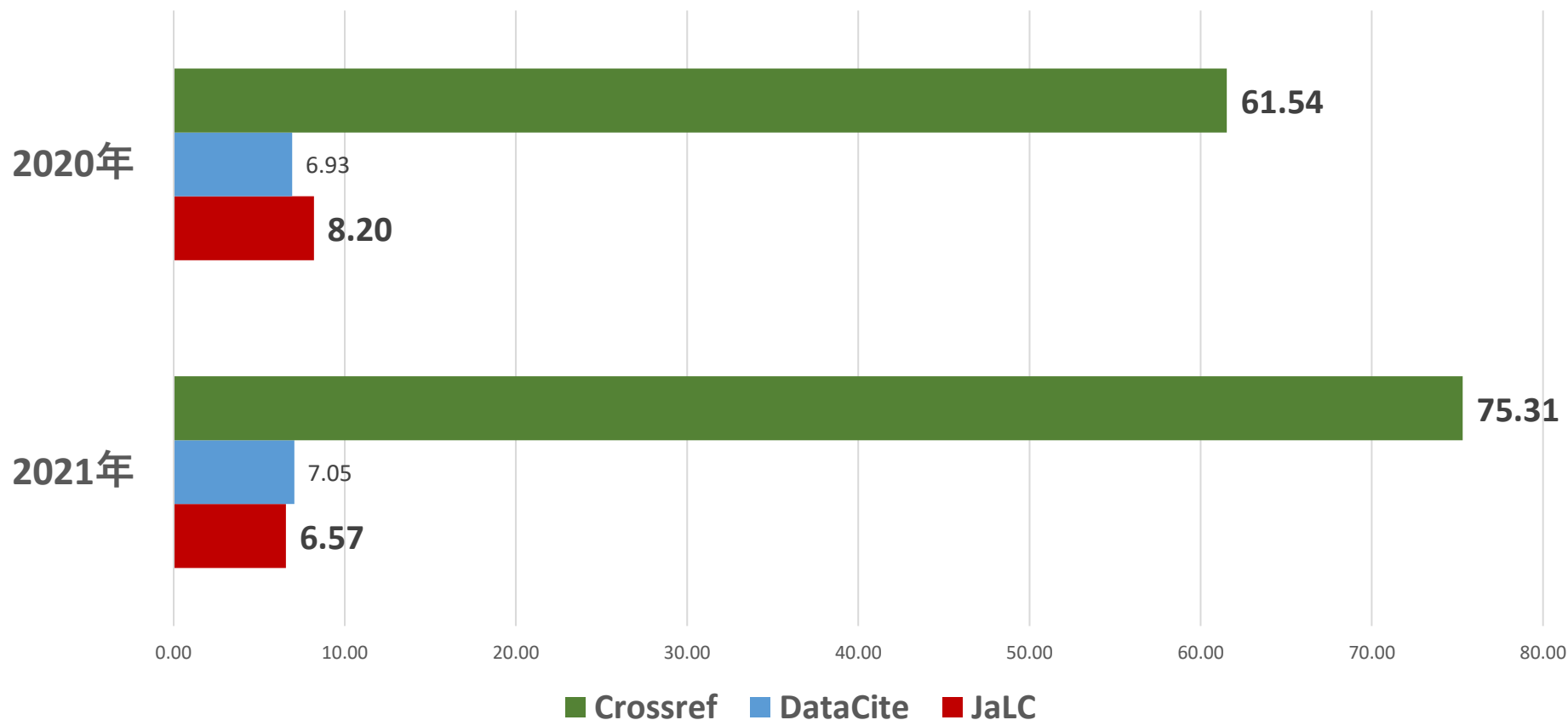
Crossrefが公開しているメタデータの活用事例

- ✓ **メタデータの検索に利用** ……Authorea/PaperHive
- ✓ **保有データとのマッチングによる精度向上や充実に利用** ……SHAREプロジェクト/CLA/
Open Citation/NLS/
CHORUS search or Dashboards/
Research fish/Kudos/Europe PMC
- ✓ **DOIを利用したデータ管理** ……Dimensions/MDPI/Scilit
- ✓ **メタデータを利用した新たな
検索エンジン・引用データベースの開発** ……OUCI

各サービスにおけるCrossrefメタデータの利用→Crossref DOIの露出増加
→Crossref DOIを利用した**アクセスが増加**

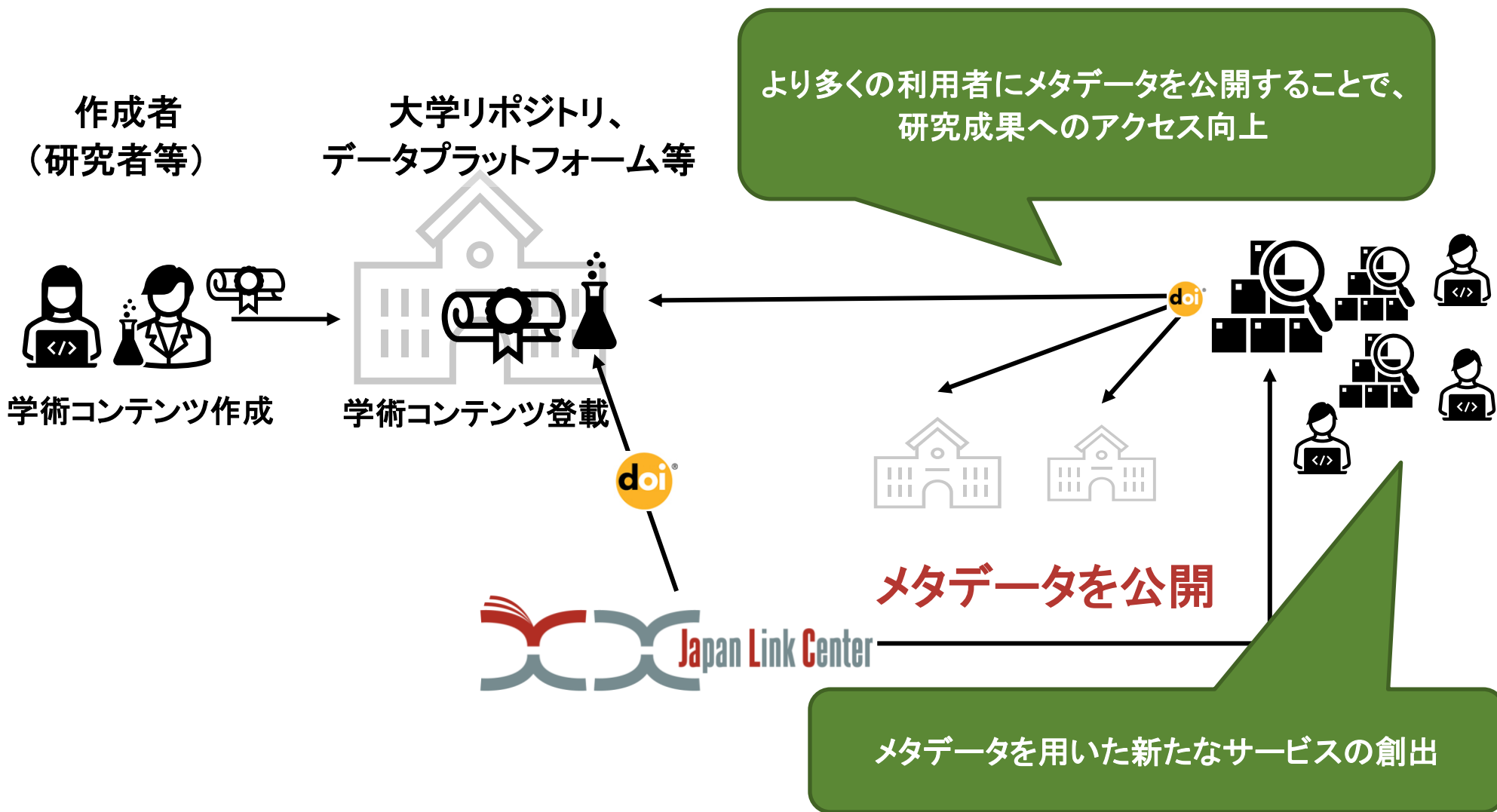
3-1. オープン化の背景・目的

1年間におけるDOI1件あたりの解決数

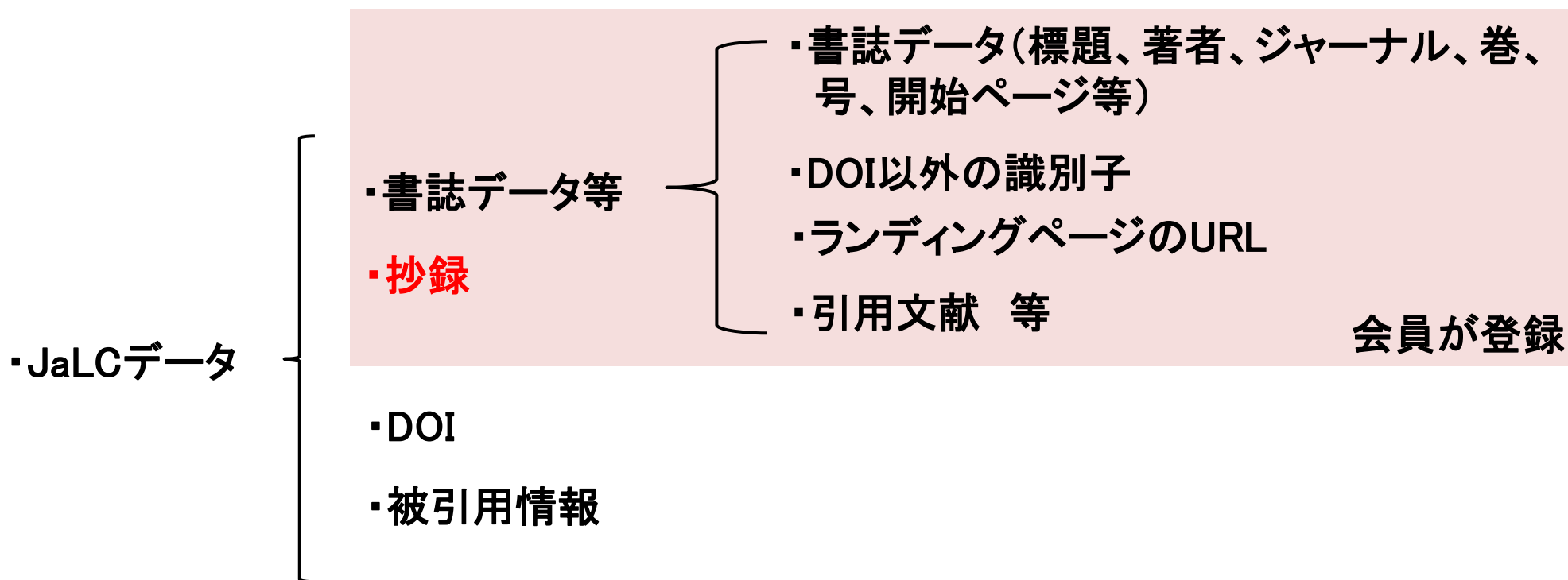


※(当該年1年間の累計解決数)/(当該年末時点での累計DOI登録件数)

3-1. オープン化の背景・目的



3-2. オープン化対象メタデータ



3-3. オープン化方針検討経緯

① 「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022」の策定

JaLCのDOIを保有するコンテンツへのアクセス拡大を目指し、
メタデータオープン化を検討

② 第1回 JaLC 会員へのアンケート(2017年12月実施)

JaLCメタデータオープン化の方針についてアンケート

③ JaLC 関係者会議(2018年11月開催)

JaLC会員30名程度と運営委員会でデータオープン化に関する講演や議論を行う。
抄録についても許諾は必要としつつ一般公開を望む声が多く寄せられる。

④ 第2回 JaLC 会員へのアンケート(2019年1月実施)

関係者会議での議論をもとに、「会員、非会員の差異無く抄録を含めた
すべてのメタデータの利用を可能とする」方針についてアンケート

⑤ JaLC運営規則、参加規約改定(2019年10月改定、2020年4月施行)

②～④で議論された内容を元に、JaLCにおけるメタデータの取り扱いについて
参加規約、運営規則にて改定。

3-4. オープン化方針(2020年4月施行)

JaLC 正会員がシステムに登録した書誌データ(標題、著者名、収録ジャーナル名、収録巻・号、開始ページ、ISBN、ISSN 等)、URI、引用情報、抄録や、JaLCが有効化(登録)した DOI等は、JaLC データとして、JaLC の情報提供機能(コンテンツ検索画面・API)を通じ、国内外問わず公開され、不特定多数の第三者が閲覧できる状態となります。

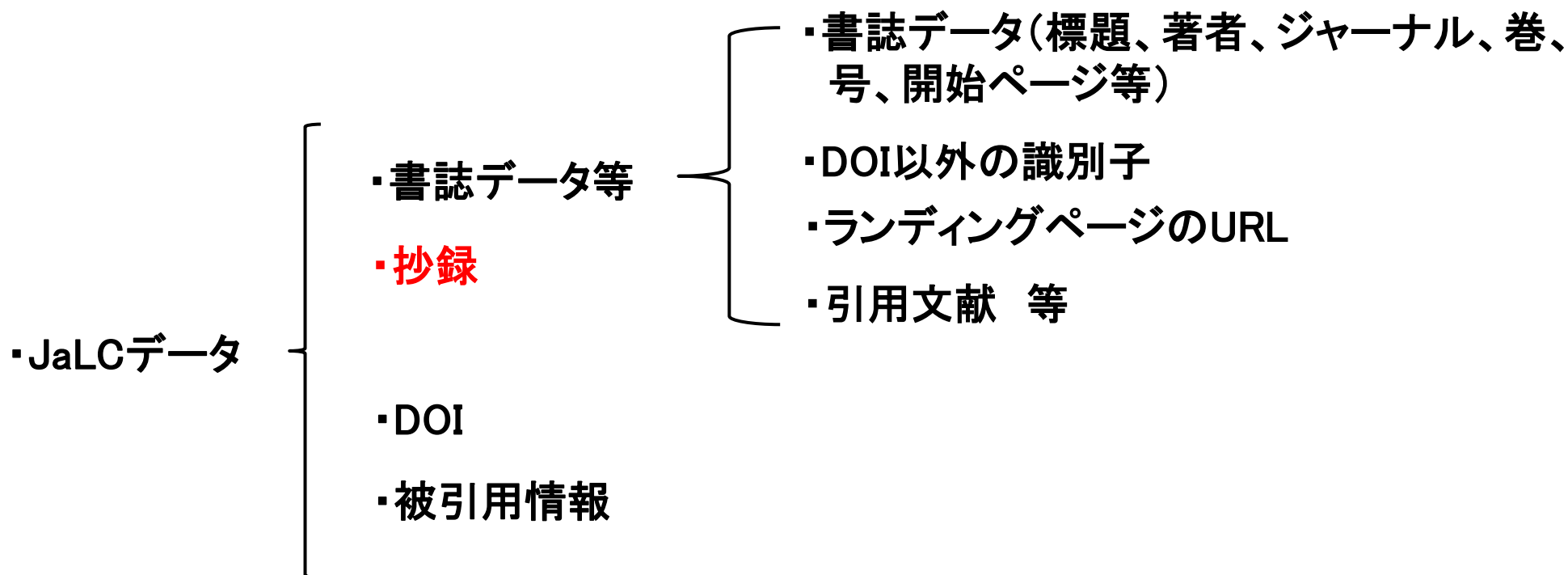
- 書誌データ、URI、引用情報、DOIは、目的・態様を問わず誰でも自由に利用できる。
- 抄録は著作権法上の保護対象となるため、メタデータを登録する際、JaLC正会員は、抄録の利用を許諾する対象を次のいずれかから選択できます。許諾の範囲は「**抄録ライセンスフラグ**」で示すことができる。
 - ① 不特定多数の第三者に抄録の自由利用を許諾する
 - ② JaLC正会員、連携機関のみに抄録の自由利用を許諾する
- 抄録の公開を望まない場合、「一括抄録情報登録画面」より登録している抄録を一括削除することが可能。

※実際の第三者向け情報提供機能では当面の間、抄録はフラグ[可]抄録のみ公開

3-4. オープン化方針(2020年4月施行)

- 抄録登録時に未設定の場合、もしくは「抄録ライセンスフラグ」リリース前に登録されていた抄録については、デフォルトで「第三者使用不可(disallow)」となっています。
- ※「JaLCにおけるメタデータ」とは、あくまでJaLC正会員が登録した書誌情報等を指しており、論文や研究データなどコンテンツ本体は含まれません。
- 不特定多数の第三者に抄録を提供する際、閲覧者が必ず「抄録ライセンスフラグ」の値を確認するよう、「一般向けデータ提供サービス利用規約」および「正会員・連携機関向けデータ提供サービス利用規約」で義務づけています。
- 「抄録ライセンスフラグ」の値の変更や抄録の削除は可能ですが、変更前に外部に提供され、利用者が取得した抄録や「抄録ライセンスフラグ」の情報を取り消すことはできません。例えば、抄録ライセンスフラグを「第三者使用可(allow)」から「第三者使用不可(disallow)」に変更しても、変更以前に抄録を取得した利用者による抄録の利用を遡って取り消すことはできません。

3-4. オープン化方針(2020年4月施行)

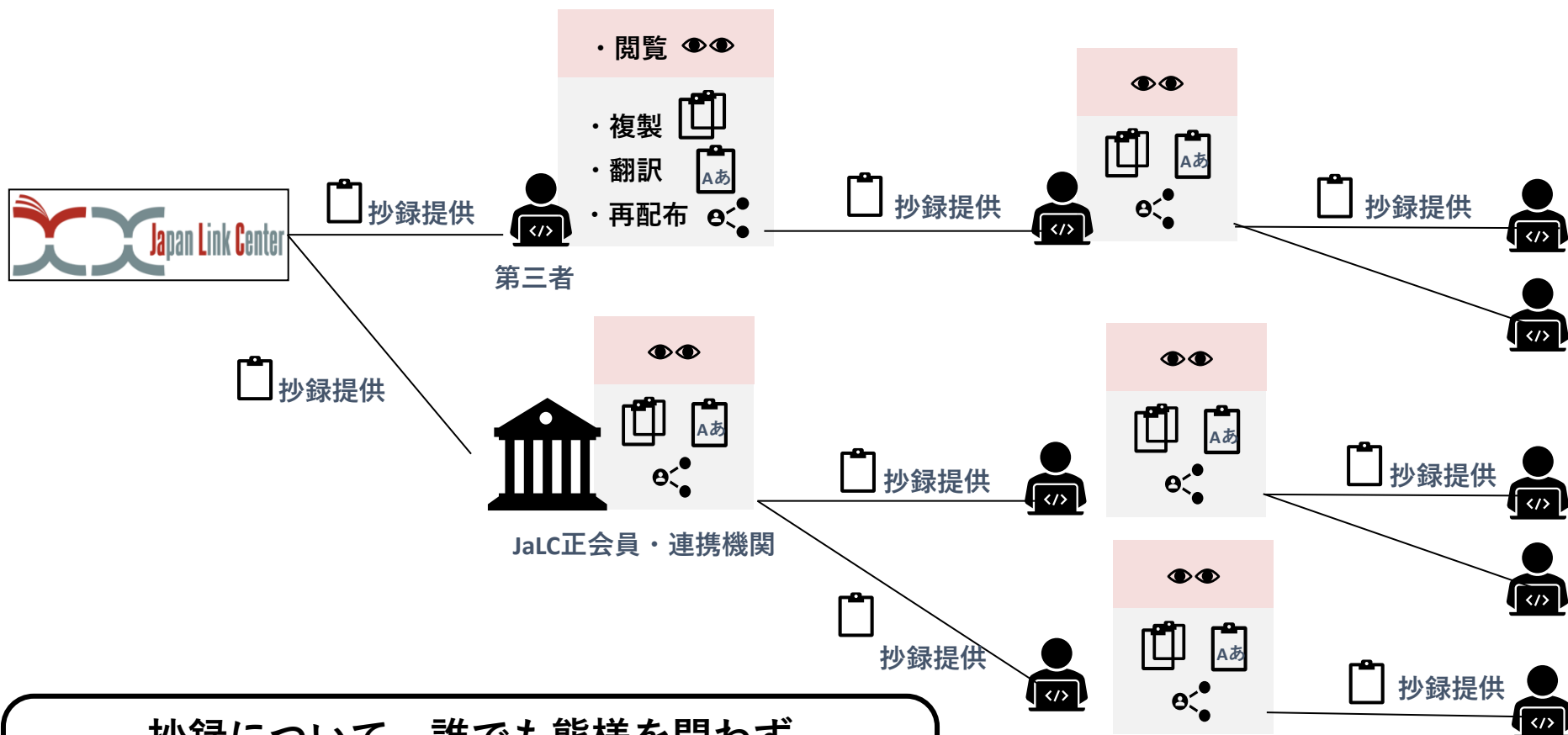


JaLCデータ: 全て公開

抄録以外のデータ: 誰でも自由に利用可能(著作権を含まないため)

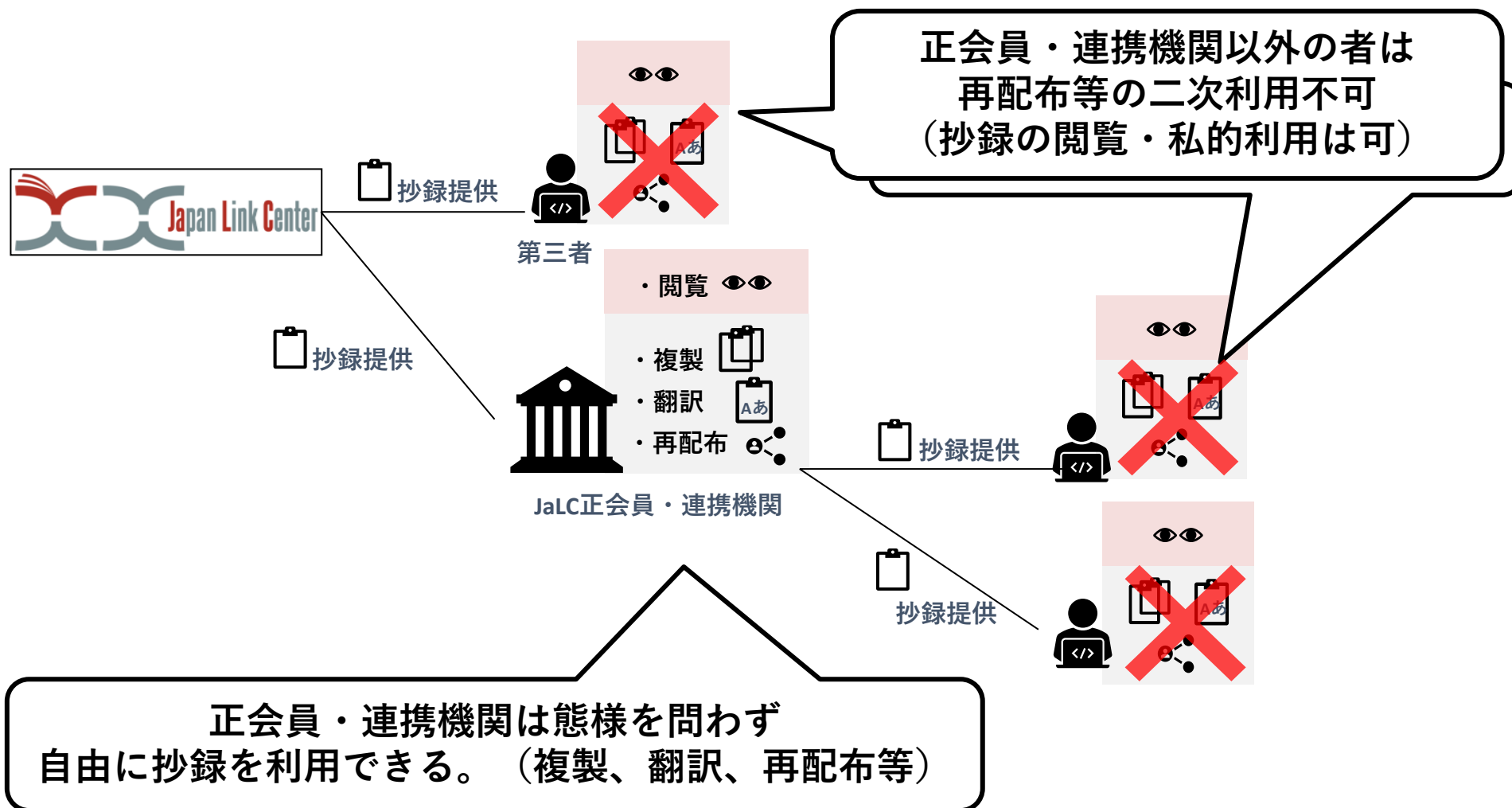
抄録: 抄録ライセンスフラグで利用条件を設定/登録なしも可

3-5. オープン化方針(フラグ可抄録)

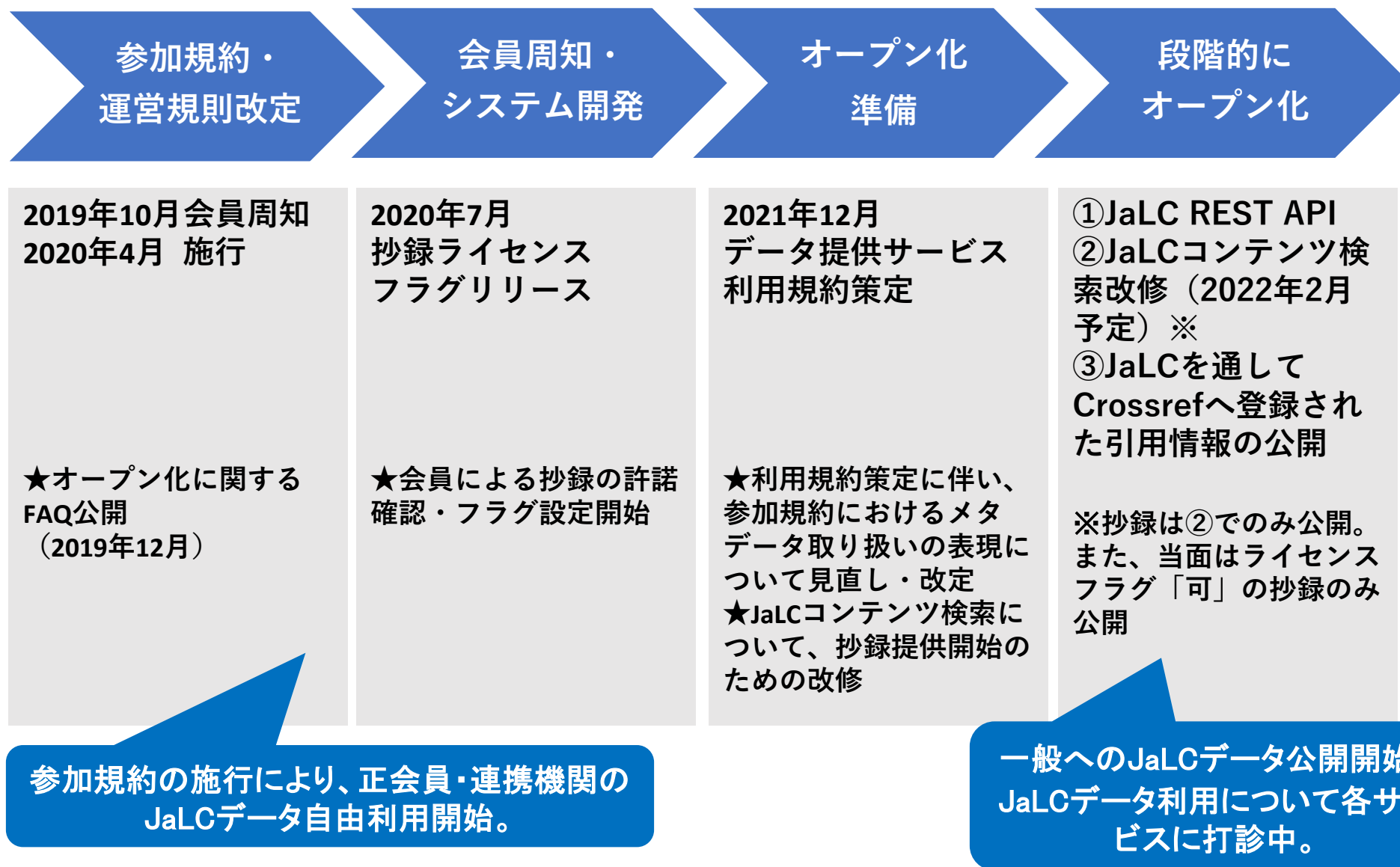


抄録について、誰でも態様を問わず
自由に利用できる。(複製、翻訳、再配布等)
➔研究成果へのアクセス向上

3-6. オープン化方針(フラグ不可抄録)



3-7. オープン化の実施



3-7. オープン化の実施

2020年度春の参加規約施行から現在(2022年1月)まで

- 正会員・連携機関については全メタデータ取得・利用可能
(現状実際に利用している正会員は、2020年度以前から運営委員会に認められてJaLCデータを利用していた会員機関のみ)
- 一般利用者は最低限のデータ(タイトルやDOI等)のみ取得可能

現状・今後

- 一般利用者が利用可能なデータ提供サービスを拡充し、メタデータのオープン化を進める。また、オープンにしたメタデータについて各種サービスに利用をよびかける。
- 抄録の一般提供については2022年2月以降に開始予定。

3-8. JaLCのデータ提供サービス

サービス	対象	DOI、書誌データ、 URI	引用情報	論文抄録
JaLCコンテンツ検索 (Web画面検索サービス)	一般	○	×	改修後、「可」抄録のみ ○
一般向けコンテンツ検索 インターフェース (DOIコンテンツ検索)	一般	○	×	×
JaLCメタデータ 一括ファイル提供	一般	○	×	×
JaLC REST API	一般	○	○	×
書誌情報XML_DOI名 検索	会員	○	○	○
OAI-PMH情報提供機能	会員	○	○	○

3-9. オープン化の実施① JaLC REST API

- 誰でも利用可能な新しいデータ提供サービスを2021年12月22日リリース。※
 - JaLCが保有する情報についてJSON形式で提供

- 以下のことが可能に！

- JaLCを通じて払い出されたDOIプレフィックスリストの取得
- prefix単位で登録されているDOIリストの取得
- DOIが付与されたコンテンツのメタデータ※の取得

※ DOI登録者(サイトID)、コンテンツ区分(ジャーナル/書籍/研究データ等)、DOI登録機関(JaLC/Crossref/DataCite)、出版社、タイトル、著者、発行年月日、助成情報、ジャーナル情報、引用情報、他(抄録は除く)

- 令和5年度以降、抄録情報等の対象リソースの追加や検索・フィルター機能、集計機能追加を予定。

詳しくはJaLC Webサイト-サービス-JaLC REST APIをご覧ください。

3-9. オープン化の実施① JaLC REST API

以下条件のDOIリスト

プレフィックス:10.1241

指定期間:2017年4月1日～2018年3月31日

```
{
  "status": "OK",
  "apiType": "doilist",
  "apiVersion": "1.0.0",
  "message": {
    "total": 186,
    "rows": 20,
    "totalPages": 10,
    "page": 1,
    "data": {
      "items": [
        {
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.51.index_51-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.51.index_51-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.52.index_52-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.52.index_52-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.53.index_53-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.53.index_53-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.54.index_54-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.54.index_54-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.55.index_55-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.55.index_55-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.56.index_56-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.56.index_56-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.57.946",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.57.946",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-09-13"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.57.index_57-1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.57.index_57-1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-02-28"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.58.494",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.58.494",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2018-03-27"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.59.872",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.59.872",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-03"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.1",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.1",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-04"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.100",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.100",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.11",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.11",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-04"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.110",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.110",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.119",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.119",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.128",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.128",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.132",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.132",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.137",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.137",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.141",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.141",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          },
          "dois": {
            "doi": "10.1241/johokanri.60.143",
            "url": "https://doi.org/10.1241/johokanri.60.143",
            "ra": "JaLC",
            "siteId": "SI/JST.JSTAGE",
            "updated_date": "2017-04-30"
          }
        ]
      }
    }
  }
}
```

3-10. オープン化の実施②JaLCコンテンツ検索改修

■ Web画面検索サービス「JaLCコンテンツ検索」の拡充(2021年2月予定)

The screenshot displays the JaLC Content Search interface. The search criteria section includes fields for DOI, Title, Author Name, Publication Year (with a range selector), Registration/Update Year (with a range selector), and Content Area (a dropdown menu set to 'None'). Below these fields, a note states: '※DOI、タイトル、著者名の検索は前方一致で行われます。 ※著者名の姓と名の間には空白を入力してください。' (Search for DOI, title, and author name is performed by prefix matching. Please enter a space between the surname and given name of the author name.)

Below the search criteria, there are checkboxes for 'Terms of Use' and 'I agree with the Terms of Use', and buttons for 'Search' and 'Clear'.

The results section shows a table with columns for 'Copy/Usage Flag Setting', 'Regular Member Name', 'ISSN', 'RA Organization Name', and 'Document Name'. All these columns currently show 'None' in the dropdown menus. Below the table, it indicates '269 items, 1 - 100 results are displayed.' and a 'Sort:' dropdown menu set to 'None'.

検索条件に指定できる
項目の拡充

検索結果を正会員や
ISSN、RA機関機関等で
絞り込めるソート機能追
加

検索結果の一括DL機
能追加

3-10. オープン化の実施②JaLCコンテンツ検索改修

詳細 JSON	
DOI	
コンテンツ区分	ジャーナルアーティクル
タイトル	
サブタイトル	
資料名	
作成者	
所属機関	
寄与者	
所属機関	
発行年	
出版者	
コンテンツ記述言語	
巻	
号	
ページ	

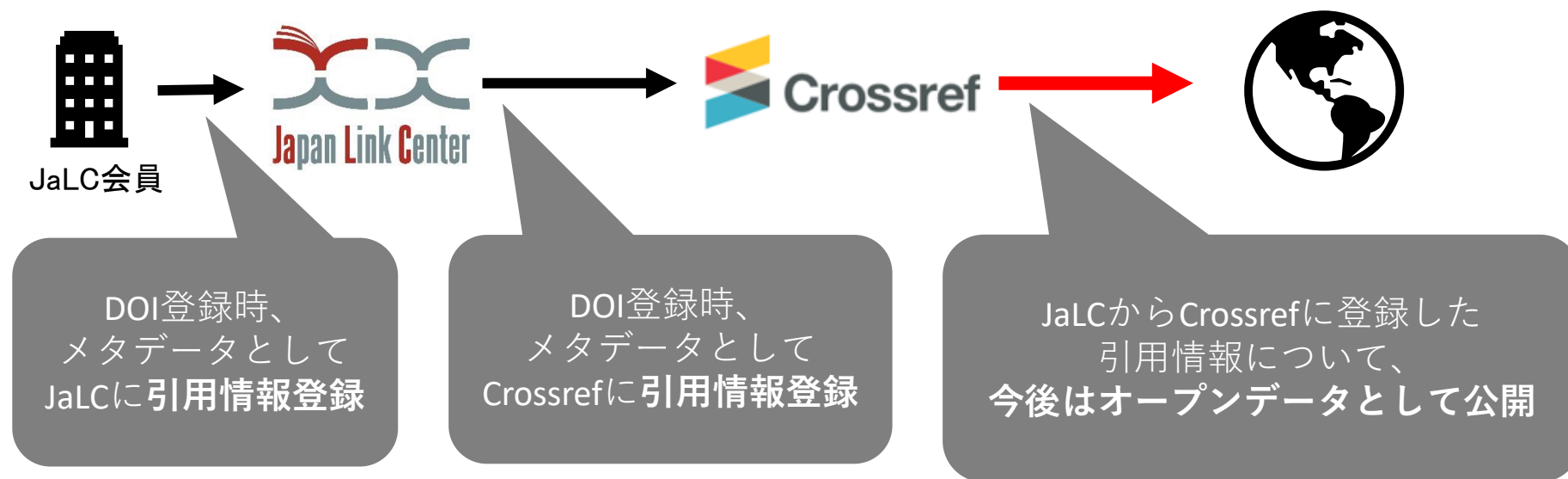
ページ	
論文番号	
書籍区分	
正会員名	
RA機関名	Crossref
Online ISSN	
Print ISSN	
ISSN-L	
抄録ライセンスフラグ設定 ?	不可
抄録	

抄録ライセンスフラグ・抄録情報など、
検索結果として表示するコンテンツ情報の項目追加
※当面、抄録ライセンスフラグ「不可」抄録は非表示

PMID	
登録・更新年月日	

3-11. オープン化の実施③ 引用情報の公開

- JaLC経由でCrossrefにDOIを登録した論文の引用情報に関する
Crossrefにおける取り扱いについて、JaLCメタデータのオープン化に伴い下記変更



- Crossrefから情報を取得し利用している各種サービス(OpenCitations等)において
JaLCを通じて登録されたコンテンツの情報が取り込まれるため、
日本の研究成果の国際的な流通促進が期待される。

3-12. データ利活用事例(現状)

- 統合検索サービスにおける書誌同定やメタデータの充実、精度向上

【例① CiNii Research (NII)】

NII RCOS
Research Center for Open Science and Data Platform

データの名寄せの効果

- IDを持たない論文に JaLC 由来の DOI を付与

CiNii Researchで収集したDOIを持たない論文と持つ論文のマッチングを行い、同一論文と判定されたCiRの論文に対してDOIを付与

マッチングアルゴリズムの一例)



データの合理的な表示
各エンティティのメタデータリッチ化

【例② JDreamⅢ (ジー・サーチ)】

FUJITSU

JDreamⅢにおける引用データの活用

「どんな論文を引用しているのか」「どんな論文に引用されたのか」を簡単操作で集合に追加。通常の検索では見落としていた類似研究の把握が容易になります。



8

Copyright 2021 G-SEARCH LIMITED

大波 純一.“CiNii ResearchにおけるJaLCデータの統合的利用”.Japan Link Center 過去のイベント ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(第8回).2022/1/12.https://japanlinkcenter.org/top/doc/2112_t_slide_7.pdf, (2022/1/13)

株式会社ジー・サーチ.“JaLC メタデータの活用報告-JDreamサービスにおける活用事例-”.Japan Link Center 過去のイベント ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(第8回).2022/1/12.https://japanlinkcenter.org/top/doc/2112_t_slide_8.pdf, (2022/1/13)

3-13. データ利活用事例(今後への期待)

- REST API等を通じたデータ提供について各サービスへ利用・連携を打診

- Open Citations

- ・・・PubMed、Crossref、ORCID等から集めた引用情報をもとに引用情報索引機能を開発・運用している。データ収集元としてJaLCデータを打診中。

- Unpaywall

- ・・・5万以上の出版社、リポジトリ等から情報を収集し、大規模なオープンアクセスコンテンツのデータベースを構築している。データ収集元としてJaLCデータを打診中。

他

- CrossrefやDataCite等、他RA機関とのデータ連携検討

3-14. 会員のオープン化対応例(J-STAGE)

令和3年11月15日
国立研究開発法人科学技術振興機構
情報基盤事業部 研究成果情報グループ

【重要】J-STAGE利用規約改正について

J-STAGEは、日本から発表される科学技術情報（人文科学・社会科学を含む）の国内外への積極的な発信及び流通促進を目的としています。そのためのプラットフォームとして、ウェブ上での論文公開によりアクセスを容易にするだけでなく、登載論文の情報を外部機関に提供するなど、外部機関との連携を積極的に進めてきました。こうした状況から、外部機関との連携についての内容をより明確化するためJ-STAGE利用規約の改正を行います。

改正の概要は以下のとおりです。

(1) ジャパンリンクセンター（JaLC）の参加規約改正への対応

J-STAGEの外部連携機関には、論文等の永続的なアクセスを確保すること等を目的として、論文等にDOI（永続的識別子）を付与しているジャパンリンクセンター（JaLC）があります。J-STAGEは「JaLC正会員」として、J-STAGEで公開されたすべての記事に対しDOIを付与しており、その際当該記事の書誌情報、抄録情報、引用情報をJaLCに提供しています。J-STAGE利用学協会は、同時にJaLCの準会員となることとなっており、JaLCの機能を間接的に利用することとなるため、ジャパンリンクセンター参加規約が部分的に適用されます。この部分を別記1としてまとめております。

JaLCは、昨年4月からJaLCに提供された書誌情報、抄録情報、引用情報を同機関の正会員・連携機関が態様を問わず自由に利用可能なるよう参加規約を改訂しておりますので、念のため、その旨お知らせします（詳細については以下の参考に示すJaLCサイトにてご確認ください）。

また、JaLCでは、同機関が保有する書誌情報、抄録情報、引用情報を同機関の正会員・連携機関以外の第三者へのデータ提供機能がリリースされる予定です。この機能により、著作権者等の選択により、JaLC正会員・連携機関ではない第三者も抄録情報を、態様を問わず自由に利用できるようになります。選択方法は、J-STAGE利用学協会にて論文単位で、JaLC正会員・連携機関以外の第三者に対し、抄録データの態様を問わない形での利用許諾の可否を設定する形となりますが、この設定は昨年9月にJ-STAGEにてリリースした抄録ライセンスフラグにて行えますのでご確認ください。

国立研究開発法人科学技術振興機構 情報基盤事業部 研究成果情報グループ.“【重要】J-STAGE利用規約改正について”.J-STAGE.
2021/11/15.https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/pub_Announce20211115/-char/ja, (2022/1/14)

3-15. 会員の皆様へのお願い

- JaLCに抄録を登録する際は、必要な著作権処理を実施の上、抄録ライセンスフラグの設定をお願いいたします。
- コンテンツへのアクセス向上のため、抄録を始め引用情報や他識別子（ORCID）等、可能な限り多くのメタデータ登録にご協力ください。
- ランディングページの維持およびDOIとURLの紐付けについて正確な管理をお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

DOIに関する最新情報は、
ジャパンリンクセンターwebサイト↓で紹介しております。

<https://japanlinkcenter.org/top/>

